



公立大学法人 埼玉県立大学 地域産学連携センター

【平成30年度 活動実績報告書】



目 次

ごあいさつ	1
地域産学連携センターの概要	2
地域産学連携センターの活動（概念図）	3
1 産学連携相談受付の窓口	4
（１）地域の企業等との共同研究・受託研究・特定講座の受付窓口	4
（２）産業界への学内情報の発信や研究成果の公表	5
2 大学の特色を活かした一般県民向けの公開講座の企画及び実施	7
3 保健医療福祉従事者のキャリアアップのための専門職研修等	10
（１）専門職講座の実施状況	10
（２）認定看護師教育課程	11
（３）社会福祉士実習指導者講習会	14
（４）専門職連携を学ぶ講座の開催	15
4 市町村等への支援連携及び地域社会との連携の窓口	18
（１）市町村との共同調査、政策立案支援及び連携事業の実施	18
（２）県・市町村の審議会等への委員派遣、研修会等への講師派遣	20
（３）教員免許更新講習	20
（４）中学、高校との連携（出張講座、開放授業、体験実習等）	21
（５）その他の地域との連携など	23
（６）地域専門職連携推進会議	24
（７）地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議	25
（８）志木市と「地域包括ケアシステムの構築に関する協定」を締結	25
参 考	
別紙１ チャレンジジュニア育成事業（夢のかけはし教室）「看護師になりたい」	26
別紙２ 子ども大学こしがや・まつぶし	27
別紙３ 地域産学連携センター関連事業の広報紙掲載実績（平成３０年度）	28

ごあいさつ

大学の使命は、教育と研究に社会貢献を加えた 3 つの柱から構成されております。本大学は、平成 27 年に新たに定められた大学の基本理念「陶冶・進取・創発」に従った教育研究上の目的である「現代社会を構成する市民としての豊かな教養、確かな倫理観と人間観を基盤に、保健医療福祉分野における専門的な知識と技術とともに多職種との連携と協働に必要な能力をもって、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成する」を基軸とし、保健医療福祉に関する教育・研究の成果とその専門性を生かした「地域連携」並びに「産学連携」の取り組みを進めております。地域産学連携センターは、その窓口として機能しております。

「地域連携」においては、二つの部会をもち、地域の専門職連携を推進するための専門職連携基礎研修と IPW 総合課程研修、地域専門職連携推進会議を開催しています。また、専門職のスキルアップのための専門職講座、県民の皆様の健康づくりや福祉の向上、生涯学習に役立つ一般公開講座、教員の専門領域から発信する Web 講座、高校生向けの開放授業、地域の小学生を対象とした子ども大学、日本看護協会指定の認定看護師教育課程「緩和ケアコース」による専門職キャリアアップ事業等々、大学の専門性を活かした社会貢献に取り組んでおります。

さらに、包括的連携に関する協定を結んでいる越谷市と春日部市に加え、平成 30 年度には、志木市と「地域包括ケアシステムの構築に関する協定」を結び、共同で事業を行うなど自治体との連携の取り組みも拡充しております。

一方、「産学連携」においては、教員の研究シーズと地元産業界のニーズとのマッチングを図り、受託研究や共同研究の支援、また特定講座への講師派遣を通して各企業における社員及び顧客に対する健康教育の支援を行っています。さらに平成 30 年度は地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議を立ち上げ、要支援者のニーズと支援を推進する企業団体とのマッチングを支援しております。その他、彩の国ビジネスアリーナ等に出展するなど、展示会・商談会への参加も積極的に行っております。

本報告書は、平成 30 年度の活動を概観していただき、今後の活動に向けてご示唆をいただくことを目的に発刊いたしました。

埼玉県立大学が、地域社会にとってかけがえのない存在として役割を担えるよう、さらなる改善に努めて行く所存です。皆様におかれましても、地域産学連携センターの活動に、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成 31 年 3 月

埼玉県立大学地域産学連携センター
所 長 星 文彦
副所長 横山 恵子

地域産学連携センターの概要

当大学は、地域との連携・交流及び県民の教育研修などを行う学内組織として、平成 15 年 4 月に「教育研修センター」を設置した。その後、平成 20 年 4 月 1 日から「地域産学連携センター」と名称を変更し、対外的な窓口として、地域貢献活動を全学的に推進している。

地域産学連携センターは、当大学の教育研究資源やその成果を用いて、地域社会、企業及び自治体等と連携し、保健・医療・福祉の水準の向上と地域産業の振興及び地域社会の発展に貢献する際の中核拠点となっている。

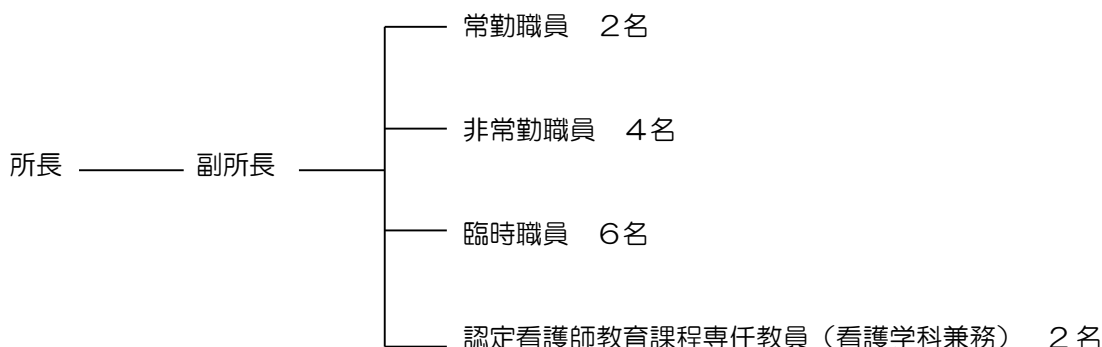
1 地域産学連携センターの主な業務

- (1) 産学連携相談受付の窓口
地域の企業等との共同研究・受託研究・特定講座の受付窓口
産業界への学内情報の発信や研究成果の公表
- (2) 大学の特色を生かした一般県民向けの公開講座の企画及び実施
一般公開講座やWEB講座の実施
- (3) 保健医療福祉従事者のキャリアアップのための専門職研修等
保健医療福祉分野に従事する方を対象とした専門職講座の実施
高度な専門技術を持つ看護師（認定看護師）の養成
- (4) 市町村等への支援連携及び地域社会との連携の窓口
市町村との共同調査、政策立案支援、連携事業の実施
県・市町村の審議会等への委員派遣、研修会等への講師派遣
中学、高校との連携（出張講座、開放授業、体験実習等）

2 地域社会との連携に関する主な取り組み

平成 20 年	1 月	財団法人埼玉りそな産業協力財団との間で「産学連携協力に関する覚書」締結
平成 20 年	4 月	教育研修センターを地域産学連携センターに改称
平成 21 年	7 月	越谷市との間で「連携協力に関する包括協定」締結
平成 22 年	5 月	産学連携コーディネータ設置
平成 22 年	6 月	企業向け特定講座の制度創設
平成 22 年	7 月	県内 6 金融機関との間で「産学連携協力に関する覚書」締結
平成 23 年	10 月	さいたま市と大学コンソーシアムさいたまとの間で「連携に関する包括協定書」締結
平成 23 年	11 月	春日部市との間で「包括的連携に関する協定書」締結
平成 31 年	2 月	志木市との間で「地域包括ケアシステムの構築に関する協定書」締結

3 地域産学連携センターの組織



埼玉県立大学地域産学連携センターの活動



- 産学連携セミナーの開催
- 産学官マッチングイベント等への出展
- 企業と大学との共同研究・受託研究・特定講座に関する相談、調整
- 産学連携コーディネータによる企業訪問
- 教員の研究シーズの積極的な**広報**



- 講演会や研修会等への講師派遣、自治体審議会等の委員委嘱
- 高度な専門技術を持つ認定看護師の養成
- 高校生向け開放授業の実施
- 中学・高校生への出張講座の実施
- 「子ども大学」や「夢のかけはし事業」など埼玉県や市町村との連携事業の実施
- 「シルバーカレッジ」や高齢化が進む「武里団地」への学生入居による地域貢献活動など地元及び近隣市との連携事業の実施
- 「りそなキッズマネーアカデミー」開催など地元企業との連携事業の実施

- 県民を対象とした健康づくりに役立つ公開講座、WEB講座の実施

- 「専門職連携を学ぶ講座」などの医療福祉従事者を対象とした各種専門講座の実施

保健

健康の維持・増進

医療

疾病・障害の予防・改善

福祉

障がい者・高齢者・子ども支援



社会への還元・地域への貢献

1 産学連携相談受付の窓口

本学は、魅力ある地域づくりや産業の活性化に寄与するため、本学の知的資源を研究シーズとして積極的に公開するほか、産学交流会等への参加を通じ、産業界との連携を推進し、研究協力を積極的に進めている。

(1) 地域の企業等との共同研究・受託研究・特定講座の受付窓口

産学連携の3つの仕組みとして、本学と企業の研究者が共同して研究に取り組む「共同研究」、企業から依頼された特定のテーマについて本学の教員が研究する「受託研究」、商品開発における専門的なアドバイスや社員向け研修などを行う「特定講座」がある。本年度の実績は以下のとおりである。

◆平成30年度の共同研究・受託研究・特定講座の実績

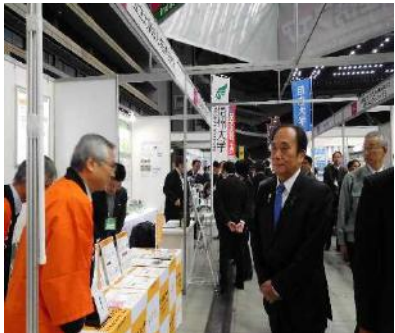
	事業名	担当教員	
共同研究	液体クロマトグラフィーによるリポ蛋白分析に関する共同研究	健康開発学科	廣渡 祐史准教授
共同研究	新規血小板活性化マーカーの探索	健康開発学科	廣渡 祐史准教授
受託研究	プライバシーを保ちながら転倒転落等を感知・通報するシステムの開発	理学療法学科	木戸 聡史准教授
受託研究	糖尿病性腎症重症化予防対策事業医療費抑制効果推計業務	大学院研究科	川越 雅弘教授
受託研究	埼玉県子供の貧困に関する実態調査	社会福祉子ども 学科	長友 祐三教授
受託研究	バネ付き機能性シューズの運動学的効果特性に関する調査研究	理学療法学科	国分 貴徳助教
受託研究	入間市子供の貧困実態調査・分析業務委託	社会福祉子ども 学科	長友 祐三教授
受託研究	地域介護予防把握事業委託	社会福祉子ども 学科	長友 祐三教授
受託研究	介護サービス事業における社会参加活動の適切な実施と効果の検証に関する調査研究事業に係る業務支援業務	大学院研究科	川越 雅弘教授
受託研究	吉川市毎日1万歩運動効果検証結果公表業務	理学療法学科	田口 孝行教授
受託研究	埼玉県コバトン健康マイレージ事業 医療費抑制効果推計業務	大学院研究科	川越 雅弘教授
特定講座	介護支援専門員に期待される役割とは	大学院研究科	川越 雅弘教授

特定講座	病いとともに生きるための意志決定支援 ～アドバンス・ケア・プランニングを考える～	看護学科	常盤 文枝教授
特定講座	健康づくり・地域づくりシステムの開発 ～住民主体の健康づくり活動・地域づくり活動を支援する研究～	理学療法学科	田口 孝行教授
特定講座	在宅医療・介護連携の現状と諸課題	大学院研究科	川越 雅弘教授

(2) 産業界への学内情報の発信や研究成果の公表

県内地域に特化したものから国内最大級のビジネスマッチングイベントまで幅広く出展し、研究成果を積極的に発信。大学の有する研究シーズの広報に努めた。

事業名	イノベーション・ジャパン2018		
日時／会場	平成30年8月30日(木)・8月31日(金)／東京ビッグサイト		
概要	大学の最先端技術シーズと産業界のニーズを結びつける国内最大級のマッチングイベント「イノベーション・ジャパン2018」に出展。 本学からは、「身体障害者の病態運動を再現するシミュレーション医療教育用ロボットを用いたリハビリ臨床技能教育プログラムの開発」についてのシーズを展示した。		
出展教員	作業療法学科 小池祐士助教		

事業名	彩の国ビジネスアリーナ2019（産学連携フェア）		
日時／会場	平成31年1月30日(水)・31日(木)／さいたまスーパーアリーナ		
概要	国内最大級のビジネスマッチングイベントで、幅広い産業分野の優れた技術・製品・サービスが、さいたまスーパーアリーナの地に集結。600を超える企業・団体が出展。本学からは「B型肝炎ウイルス簡易検出のための化学発光イムノクロマト法」のシーズを展示した。		

	
担当教員	健康開発学科 久保田 亮准教授

2 大学の特色を活かした一般県民向けの公開講座の企画及び実施

本学の保健医療福祉分野の専門性を活かし、健康づくりに役立つ一般県民向けの公開講座とWEB講座を実施している。

平成30年度は、一般県民向けの公開講座として、19講座 延べ34回実施し、延べ受講者数は1,110人であった。

また、気軽に保健医療福祉に関する専門的な知識を誰でも無料で得ることができる講座として、WEB講座を開講し、平成30年度は、3つのテーマで6月、12月、3月に掲載した。

◆平成30年度一般公開講座実施状況一覧

講座名	開催日	回数	人数	受講料 (円)	主担当の教員	
模擬患者のための継続研修-模擬患者として授業に参加するために-	4/18(水)、6/13(水)、 7/27(金)、7/30(月)、 9/19(水)、10/24(水)、 11/7(水)、1/23(水)、 2/20(水)、3/20(水)	12	174	無料	理学療法 学科	久保田章仁 准教授
損なわれた関係を正し修復するRJ対 話体験会	5/19(土)	1	16	1,000	社会福祉 子ども学 科	梅崎薫 教授
職場のメンタルヘルス	5/27(日)	1	14	1,000	看護学科	横山恵子 教授
模擬患者とは何か入門編～よい医 療者育成に必要な力となる～	6/13(水)	1	10	無料	理学療法 学科	久保田章仁 准教授
高齢者の身体と理学療法	6/19(火)	1	33	無料	理学療法 学科	国分貴徳 助教
いつまでもいきいきと美しく～加齢に 伴う女性のケア～	6/23(土)	1	46	無料	看護学科	鈴木幸子 教授
ナースングサイエンスカフェ 助産師 って楽しい!	6/23(土)	1	31	無料	看護学科	鈴木幸子 教授
子ども劇場	7/7(土)	1	97	無料	社会福祉 子ども学 科	伊藤知子 准教授
生命科学体験教室～いのちを体験しよ う～	7/23(月)、7/27(金)	1	36	無料	健康開発 学科	井原寛子 准教授
夏休みこども講座～食品添加物の検査 をしてみよう!～	8/25(土)	1	49	無料	健康開発 学科	久保田亮 准教授
親子パラスポーツ体験講座	9/15(日)	1	6	無料	健康開発 学科	佐藤雄二 教授
がんになっても自分らしく生きよう	10/13(土)	1	54	無料	看護学科	星野純子 准教授
お口からの健康づくり～親子でお口チ ェックをしてみませんか～	10/27(土)、10/28 (日)	2	118	無料	健康開発 学科	中山真理 准教授
精神障害者家族による家族自身のリカ バリートーク～私たちは何を体験した か～	10/27(土)	1	23	無料	看護学科	横山恵子 教授
食べることの大切さと健康について学 ぼう	11/4(日)	1	12	無料	健康開発 学科	廣渡祐史 准教授

アルコール依存症への支援	11/17（土）	1	123	無料	看護学科	松本佳子 准教授
市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ	12/1（土）	1	40	無料	健康開発 学科	久保田亮 准教授
浦和レッズ親子サッカー教室	11/11(土)	1	110	無料	健康開発 学科	佐藤雄二 教授
出張！育児相談会～作業療法士による～	6/22(木)、7/15(土)、 11/29(水)、3/31(土)	4	118	無料	作業療法 学科	川俣実 准教授
合 計		34	1,110			

◆平成30年度WEB講座実施状況一覧

(平成30年6月掲載)

テーマ「ランニング・ジョギングのためのABC~身体・機能・動きのアドバイス~」

健康開発学科の八十島崇准教授を編集担当に、わたしたちの身近な運動方法である「ランニング・ジョギング」について取り上げた。これからランニング・ジョギングを始めたいという方を対象に、「足の構造と機能からみたランニングシューズの選び方」、「ランニング・ジョギング（有酸素運動）の良いところ」、「ジョギング・ランニングを気持ちよく行うためのフォームとウォームアップ」の3つの視点からアドバイスをしています。

タイトル	執筆者
身体:足の構造と機能からみたランニングシューズの選び方	理学療法学科助教 国分 貴徳(現准教授)
機能:ランニング・ジョギング（有酸素運動）の良いところ	健康開発学科教授 佐藤 雄二
動き:ジョギング・ランニングを気持ちよく行うためのフォームとウォームアップ	健康開発学科准教授 八十島 崇

(平成30年12月掲載)

テーマ「ケア空間をつくるコツ」

共通教育科の東宏行教授を編集担当に、日常生活の場面でも参考になる、ケア空間をつくるコツについて、福祉工学、基礎看護学、学校保健学の立場から、それぞれの空間づくりに見られる特徴を説明し、日常生活にも役立てられるようなアドバイスをしています。

タイトル	執筆者
人にやさしい居住空間づくり	社会福祉子ども学科准教授 大島 千帆
療養空間のつくり方	看護学科教授 徳本 弘子
癒やし空間をつくる小物たちー保健室の空間づくりから	共通教育科准教授 上原 美子

(平成31年3月掲載)

テーマ「認知症高齢者の家族の介護負担軽減のために」

看護学科の渋谷えり子准教授を編集担当に、高齢者が急増している中で、認知症高齢者の方も増えています。特に、認知症高齢者の方をはじめて介護されるご家族は、戸惑われ、一人で悩むことも多いと思います。そこで、認知症高齢者の理解とご家族の介護負担の軽減に役立てていただくために、医学、看護、福祉の視点から解説します。

タイトル	執筆者
認知症・BPSD・睡眠	共通教育科教授 金野 倫子
認知症の症状と接し方	看護学科助教 畔上 光代
社会資源の活用	社会福祉子ども学科教授 梅崎 薫

3 保健医療福祉従事者のキャリアアップのための専門職研修等

保健医療福祉分野に従事する方を対象に、キャリアアップのための専門職講座や講習会、研修会等を実施している。

専門職講座としては、平成 30 年度は、17 講座、延べ 64 回実施し、延べ受講者数は 1,652 人であった。

また、高度な専門技術を持つ看護師（認定看護師）の養成として認定看護師教育課程（緩和ケアコース）を開講している。

（１）専門職講座の実施状況

講座名	開催日	回数	延べ人数	受講料	主担当の教員	
看護教員の教育実践能力を鍛える公開講座	4/1(日)、4/14(土)、5/19(土)、6/23(土)、7/28(土)、8/18(土)、9/15(土)、10/28(日)、12/1(土)、1/26(土)、2/9(土)、2/16(土)	12	112	無料	看護学科	徳本弘子教授
埼玉精神看護・精神地域ケア事例検討会	5/12(土)、7/14(土)、9/15(土)、11/17(土)、2/16(土)	5	331	無料	看護学科	横山恵子教授
臨床家のための看護研究セミナー	5/28(月)、7/23(月)、10/22(月)、12/10(月)	4	24	2,000 (4回分)	看護学科	兼宗美幸准教授
新人看護教員の看護教育実践講座	6/23(土)、12/1(土)	2	17	1,000 (2回分)	看護学科	徳本弘子教授
学習する組織を目指す教育責任者の中長期育成支援プログラム	6/16(土)、7/21(土)、9/22(土)	3	42	無料	看護学科	鈴木康美教授
養護実践事例検討会	8/9(木)	1	78	無料	共通教育科	上原美子准教授
理学療法学科 臨床実習指導者講習会	8/28(火)、8/30(木)、9/4(火)、9/5(水)、9/6(木)、9/7(金)、9/11(火)、12/11(火)	15	255	無料	理学療法学科	原和彦教授
認定看護師フォローアップ研修（講義「緩和ケアとユーモア」）	9/7(金)	1	191	1,000	看護学科	星野純子准教授
訪問看護師スキルアップ講座	10/28(土)	1	20	無料	看護学科	星野純子准教授
保健師実践力アップセミナー	11/3(土)	1	5	無料	看護学科	澤登智子准教授
卒業生を中心とした理学療法士向け講習会および学会形式の交流会	12/2(日)	1	168	無料	理学療法学科	国分貴徳助教
多様性（ダイバーシティ）の中で、共に働くために	12/8(土)	1	42	無料	看護学科	鈴木康美教授
保健師専門研修	2/16(土)	1	30	無料	看護学科	澤登智子准教授
認定看護師フォローアップ研修（講義「緩和ケアとユーモア」）	3/18(月)	1	6	無料	看護学科	星野純子准教授
認定看護師フォローアップ研修（認定更新審査のポイント研修）	3/26(火)	1	26	無料	看護学科	星野純子准教授
若手理学療法士向け症例検討会	4/14(土)、5/26(土)、6/23(土)、7/21(土)、8/18(土)、10/27(土)、11/17(土)、12/8(土)、1/26(土)	9	252	無料	理学療法学科	国分貴徳助教
施設勤務理学療法士向け症例検討会・講習会	4/20(金)、5/25(金)、6/22(金)、11/9(金)、12/7(金)	5	53	無料	理学療法学科	国分貴徳助教
合計		64	1,652			

(2) 認定看護師教育課程

本学の認定看護師教育課程は、保健医療福祉の向上のため、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる認定看護師を育成する目的で、平成 17 年度に開設した。

認定看護師の養成は、看護従事者の技術面での向上心に応えるばかりでなく、医療現場における医療安全や医療サービスの質的向上に欠かせない資格として、その必要性が高まっており、本学では、看護専門職に対する継続教育の一環として認定看護師教育課程を実施している。

なお、本学では、平成 23 年度から緩和ケアコースに特化して開講しており、本年度は 30 名が修了をした。専任教員は、看護学科の筑後幸恵准教授と星野純子准教授が担当している。

◆平成 30 年度埼玉県立大学認定看護師教育課程の概要

① 開講期間

平成 30 年 8 月 29 日(水)～平成 31 年 3 月 20 日(水)

② 受講対象者

- ・看護師の資格取得後、常勤（週 40 時間勤務）換算で 5 年以上の実務研修を有する者（実務経験は、平成 30 年 3 月 31 日現在とする）

- ・次に掲げる実務経験を有する者

ア 通算 3 年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。

イ 積極的治療が行われてから死に至るまでの緩和ケアを受ける患者を 5 例以上担当した実績を有すること。

ウ 原則として、現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していること。

③ 教科目、授業時間及び講師

分類	教科目	時間	講師	所 属
共通科目	医療安全学：医療倫理	15	筑後 幸恵	埼玉県立大学
	医療安全学：医療安全管理	15	寺側 優里	上尾中央第二病院
			田上 豊	埼玉県立大学
	医療安全学：看護管理	15	岩満 裕子	東京医療保健大学
			鈴木 康美	埼玉県立大学
	臨床薬理学：薬理作用	18	佐野 元彦	埼玉医科大学総合医療センター
			田中 健一	埼玉県立大学
	チーム医療論(特定行為実践)	15	田上 しのぶ	ACTS HEALTHCARE
			横山 恵子	埼玉県立大学
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	相談（特定行為実践）	15	井口 春恵	獨協医科大学埼玉医療センター
			多田 啓恵	東京都立多摩総合医療センター
			星野 純子	埼玉県立大学
	指導	15	西尾 奈緒美	東京工科大学
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
	医療情報論	18	西尾 奈緒美	東京工科大学
			新村 洋未	埼玉県立大学
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
	対人関係（選択）	15	朝日 雅也	埼玉県立大学
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
			黒田 真由美	埼玉県立大学

専門基礎科目	緩和ケア総論	15	星 文彦	埼玉県立大学
			鈴木 玲子	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	がんのがんの集学的治療	15	柳澤 博	やまと診療所
	症状マネジメント総論	15	筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	喪失・悲嘆・死別	15	広瀬 寛子	戸田中央総合病院
			鈴木 永城	東陽寺・實傳寺・宝昌寺
			星野 純子	埼玉県立大学
	がんの医療サービスと社会的資源	22	大沢 岸子	浦和東訪問看護ステーション
専門科目			出口 ゆかり	埼玉医科大学総合医療センター
			反町 利恵	NPO 法人 在宅福祉かんわケア大地
			中島 朋子	㈱ケアーズ東久留米白十字訪問看護ステーション
			星野 純子	埼玉県立大学
	症状マネジメントと援助技術Ⅰ	15	森 尚子	赤羽在宅クリニック
			儀賀 理暁	埼玉医科大学総合医療センター
			桐山 徹	戸田中央総合病院
	症状マネジメントと援助技術Ⅱ (消化器症状のマネジメント)	15	森 尚子	赤羽在宅クリニック
			宇都 健一郎	吉川中央総合病院
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	症状マネジメントと援助技術Ⅲ (呼吸器症状のマネジメント)	18	儀賀 理暁	埼玉医科大学総合医療センター
			降矢 路子	川口市立医療センター
			佐々木 伊津子	王子生協病院
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	症状マネジメントと援助技術Ⅳ (リンパ浮腫のマネジメント)	15	木村 伸子	東都医療大学
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	症状マネジメントと援助技術Ⅴ (皮膚・粘膜・口腔トラブルのマネジメント)	18	高久 悟	目白大学
			西尾 奈緒美	東京工科大学
			中山 真理	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	症状マネジメントと援助技術Ⅵ (精神症状(不安・せん妄・抑うつ)、睡眠障害のマネジメント)	15	菅野 康二	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター
			安達 なさ子	越谷市立病院
			高橋 里江	都立駒込病院
	症状マネジメントと援助技術Ⅶ (倦怠感・悪液質のマネジメント (マッサージ、リラクゼーションなど))	15	森 尚子	赤羽在宅クリニック
			川島 麻美子	とちぎ訪問看護ステーション あしかが
			武田 美津代	埼玉県立大学
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	緩和ケアを受ける患者の心理社会的ニーズとケア	15	帯津 良一	帯津三敬病院
			小峰 和美	埼玉医科大学病院

	スピリチュアルケア	15	大場 良子	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
			村田 久行	対人援助研究所
			久保木 優佳	星総合病院
	緩和ケアにおけるチームアプローチ	15	井口 春恵	獨協医科大学埼玉医療センター
			高橋 里江	都立駒込病院
			佐山 順子	彩の国東大宮メディカルセンター
			星野 純子	埼玉県立大学
	緩和ケアを受ける患者の家族・遺族	15	星野 純子	埼玉県立大学
	臨死期のケア	15	森 尚子	赤羽在宅クリニック
			亘 智絵	NPO 法人 お互いさまネットワーク
	緩和ケアにおける倫理的課題	15	林 令奈	東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野
			六反 勝美	埼玉石心会病院
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
学内演習	総合演習Ⅰ	30	山田 八重	越谷市医師会立訪問看護ステーション
			筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
	総合演習Ⅱ	30	筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学
実習	臨地実習	180	筑後 幸恵	埼玉県立大学
			星野 純子	埼玉県立大学

実習施設一覧

【緩和ケア病棟】

施設名
上尾中央第二病院
戸田中央総合病院
吉川中央総合病院
救世軍清瀬病院
国立病院機構 東京病院
信愛病院
埼玉石心会病院
埼玉協同病院
王子生協病院
がん・感染症センター 都立駒込病院
ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院
彩の国東大宮メディカルセンター
東京ちどり病院

【訪問看護ステーション】

施設名
鳩ヶ谷訪問看護ステーション
県南訪問看護ステーション
与野訪問看護ステーション
ケアーズ東久留米白十字訪問看護ステーション
埼玉医科大学総合医療センター訪問看護ステーション
浦和東訪問看護ステーション
越谷市医師会立訪問看護ステーション

【緩和ケアチーム】

施設名
越谷市立病院
埼玉医科大学総合医療センター

(3) 社会福祉士実習指導者講習会

「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に伴い、社会福祉士実習を行う実習施設・機関の実習指導者の要件が、「社会福祉士の資格を取得後3年以上の相談援助業務の経験を有する者であって、かつ、実習指導者を養成するために行う講習会であって厚生労働大臣が別に定める基準を満たすものとしてあらかじめ厚生労働大臣に届けられたもの（社会福祉士実習指導者講習会）を修了した者」と改められた。

本学は、この法改正に対応するため、平成23年度から社会福祉士実習指導者講習会を開催しており、平成30年度は40名が修了した。

◆平成30年度埼玉県立大学社会福祉士実習指導者講習会の概要

① 開催日

1日目：平成30年6月16日（土）

2日目：平成30年7月21日（土）

② 講習会内容・講師

教員は社会福祉子ども学科



講習会の様子①

（講義受講）



講習会の様子②

（グループワーク）

<講習会スケジュール>

■1日目（平成30年6月16日・土）北棟343

時間	内容	担当者
9:30～	受付	地域産学連携センター
9:45～10:00	開講式、オリエンテーション	大岡 華子助教
10:00～12:00	実習指導概論（講義2時間）	市村 彰英教授
12:00～13:00	（昼食）	—
13:00～15:00	実習マネジメント論（講義2時間）	長友 祐三教授
15:00～15:10	（休憩）	—
15:10～18:10	実習プログラミング論（講義3時間）	木下 聖准教授

■2日目（平成30年7月21日・土）

北棟207-208（午前）、北棟206、209、210（午後）

時間	内容	担当者
9:15～	受付	地域産学連携センター
9:30～11:30	実習スーパービジョン論（講義2時間）	梅崎 薫教授
11:30～12:30	（昼食）	—
12:30～13:30	実習スーパービジョン論（1） （演習1時間）	新井 利民准教授 姜 恩和准教授
13:30～17:30	実習スーパービジョン論（2） （演習4時間）	大岡 華子助教 ＊グループ分けは当日連絡
17:30～17:45	閉講式／修了証書授与	大岡 華子助教

(4) 専門職連携を学ぶ講座の開催

IPW（Interprofessional Work：専門職連携実践）を推進するリーダーとなる実践家の育成を目的とする、IPWに関する体系的で実践的な連続講座「IPW総合課程」（全8回）を開催した。この講座では、IPWに関する基本理論や最近の動向、施設や地域でのファシリテーターとしての方法論や技術、各専門別あるいは様々な具体的な状況におけるIPWの実践を学び、ファシリテーターとして各施設やそれぞれの地域の実情に合わせた具体的なIPW活動ができることを目標としている。

また、医療や福祉の現場で必要となる、職種の垣根を越えて実施されるチームワークの基礎を学ぶ講座「多職種連携基礎研修」を開催した。

◆多職種連携基礎研修の概要

- ① 開催日：平成30年11月12日（月）13:30～17:30
- ② 会 場：地域医療教育センター
- ③ 主な内容：
 - ・多職種連携が求められる背景とチームワークの考え方
（多職種連携が求められる背景、専門職連携実践（IPW）のための基礎力、チームワークの考え方、信頼関係の構築）
 - ・チームワークを深化させる「コミュニケーション技術」
（非言語コミュニケーション、傾聴の技術、話し合う技術）
 - ・「リフレクション」を通じて自己とチームワークを俯瞰する
（なぜ「リフレクション」なのか、リフレクションのスキル）
- ④ 講 師：
新井利民（社会福祉子ども学科）
大月恵理子（看護学科）
倉田みゆき（看護学科）
井上和久（理学療法学科）
- ⑤ 受講料：無料
- ⑥ 定員：60人



◆ I PW総合課程

①開催日 平成30年9月1日(土)～12月8日(土)【全8回】

②会 場 埼玉県立大学教研棟305ホール、地域医療教育センター研修室ほか

③会場、内容、講師

開講回	会場	開催日	項目名	担当者
第1回	埼玉県立大学 教育研修セ ンター305	9月1日 (土)	オリエンテーション	横山 恵子
			開講挨拶 IPW/IPE とは IPW の基本となるヒューマンケア	萱場 一則 朝日 雅也
			IPW の基本原則	朝日 雅也
			IPW におけるチーム活動とチーム形成	新井 利民
第2回	地域医療教育 センター 講義・ディ ブリーフィ ング室	9月15日 (土)	IPW の実践と専門職の役割① 地域包括ケアシステム概論(行政の立場から)	伊藤 善典
			IPW の実践と専門職の役割② 在宅ケアにおける IPW (看護の立場から)	柴山 志穂美
			IPW の実践と専門職の役割③ 地域包括ケアシステムにおける IPW(リハ ビリテーションの立場から)	原 和彦
			IPW の実践と専門職の役割④ 学校保健における IPW(養護教諭の立場から)	上原 美子
			IPW におけるリフレクションと葛藤	嵩末 恵子
第3回	地域医療教育 センター 講義室	9月29日 (土)	IPW の実践と専門職の役割⑤ 退院支援における IPW(社会福祉士の立場 から)	佃 志津子
			IPW に必要なファシリテーションスキル	小川 孔美
			IPW の実践 ミニレクチャー① 障害者支援(作業療法士の立場から)	大橋 秀行
			IPW 実習ガイダンス	田口 孝行
			IPW の実践報告準備	大橋 秀行
第4回	地域医療教育 センター 研修室	10月13 日(土)	IPW の実践と専門職の役割⑥ IPW のコンピテンシーと IPE の成果につ いて(大学教育の立場から)	埼玉医科大学 柴崎 智美
			IPW の実践 ミニレクチャー② 精神領域におけるアウトリーチと多職種 連携	横山 恵子
			IPW の実践報告①	會田 みゆき

				横山 恵子 朝日 雅也 井上 和久
第5回	地域医療教育 センター 研修室	10月27 日(土)	IPWの実践 ミニレクチャー③ 薬剤師とうまく付き合う法	城西大学 細谷 治
			IPWの実践 ミニレクチャー④ 建築分野との連携が開く可能性とその入り口	日本工業大学 勝木 祐仁
			IPWの実践報告②	井上 和久 大橋 秀行 朝日 雅也 會田みゆき
第6回	各実習施設	11月17 日(土)	IPW 実習	田口 孝行 大月 恵理子 柴崎 智美
第7回	地域医療教育 センター 研修室	12月1日 (土)	IPW 実習 報告会準備	田口 孝行 大月 恵理子 柴崎 智美
			IPW に向けた国の施策動向と連携・協働上の諸課題	川越 雅弘
			改めて IPW の基本原則を確認する	朝日 雅也
第8回	地域医療教育 センター 研修室	12月8日 (土)	IPW 実習報告会	田口 孝行 (全担当者) (施設ファシリテーター)
			IPW 実習のリフレクション	
			修了式	萱場 一則 横山 恵子

④ 受講料：20,000円

⑤ 定員：20人



4 市町村等への支援連携及び地域社会との連携の窓口

(1) 市町村との共同調査、政策立案支援及び連携事業の実施

【埼玉県との主な連携事業】

① チャレンジジュニア育成事業（夢のかけはし教室）

概要：県青少年課が主催するイベント。小学校4～6年の児童が、警察官、消防士、アナウンサーなどの職業体験をする。本学では、毎年看護師の教室を担当している。
11月17日（土）に「看護師になりたい」を実施した。（詳細は別紙1）

② 県民の日 高校生学び“夢”プラン

概要：卒業後の進路を考えることを目的に、大学進学を希望する県内の公立高校の1～2年生が、県内の大学の講義を受講するイベント。埼玉県高等学校進路指導研究会の主催で平成26年度から実施されている。平成30年度は11月14日（水）の県民の日を実施され、本学では、3校から6人の高校生が参加し、「家族関係論」ほか3つの講義を大学生と一緒に受講した。



【越谷市との主な連携事業】

① シルバーカレッジ

概要：越谷市高齢介護課と共催により、高齢者を対象に講座を10回開催した。このうち4回の講義を本学が担当した。参加者は毎回おおむね150人で、会場の北棟大講義室は熱心な高齢者でいっぱいになった。



開講日	講師	講座内容
9月12日	看護学科 林裕栄教授	フレイルとは何か？知っていますか。
9月19日	健康開発学科 廣渡祐史准教授	血管を大事にしよう！
9月26日	看護学科 善生まり子准教授	看護の知恵でからだを労わり暮らしを豊かに ～老年期の健康～
10月17日	健康開発学科 中山真理准教授	よりよいお口・歯とのおつきあい

② 越谷市市政移動教室

概要：越谷市が市民の市政に対する理解を深めるため実施する市内の施設をまわるツアー形式の事業。本学も組み込まれており、学内の紹介とミニ講義体験を実施した。

7月 3日 「看護教育の今」

渋谷えり子（看護学科准教授）

③ 子ども大学こしがや・まつぶし

概要：越谷市教委と松伏町教委のほか民間事業者と連携して、越谷市、松伏町の小学校4～6年生が大学で学ぶことを体験する事業、「子ども大学こしがや・まつぶし」を開講した。（詳細は別紙2）

【春日部市との主な連携事業】

① 学生の武里団地入居による地域貢献活動

概要：本学の学生が、春日部市からの家賃助成を受け武里団地にルームシェアで入居し、団地の夏祭りや文化祭等のイベントに参加するほか、地域貢献活動を行うなどして、高齢化が進む団地の活性化に寄与している。同じく春日部市からの助成を受け同団地に入居をしている日本工業大学の学生と共同で行ったイベントを機に、自治会主催の「ふれあい喫茶」が毎週水曜日に開かれるようになるなどの成果も上がっている。
平成30年度は、看護学科1名、社会福祉子ども学科1名の学生2名が入居している。

② 大学生政策提案コンテスト

概要：大学生政策提案コンテストは、春日部市に大学生が政策や事業を提案するイベントで、1月18日（日）に、春日部市役所で開催された。
4大学から5グループの学生が参加し、政策アイデアを競った。
本審査では最優秀賞1グループ、優秀賞1グループ、審査員特別賞1グループ、入賞2グループを決定し、本学の Greatest OT グループが入賞を果たした。



【さいたま市との主な連携事業】

① 学生政策提案フォーラム in さいたま

概要：さいたま市と近隣の12大学で、連携して地域社会の発展に寄与することを目的に、「大学コンソーシアムさいたま」を設立。その一環で11月18日（日）に開催された同フォーラムに本学の作業療法学科から2グループが参加した。うち1グループが「優秀賞」を獲得した。本学は、初回から8年連続で受賞している。



【彩の国連携力育成プロジェクトとの連携事業】

① 埼玉県立大学 20 周年記念 彩の国連携力育成シンポジウム

概要：創立20周年記念事業の一環として、彩の国連携力育成プロジェクト（埼玉県立大学・埼玉医科大学・城西大学・日本工業大学・埼玉県）と共同で、標記シンポジウムを本学講堂で開催した。

シンポジウムでは、第一部で地域包括ケアを通じた共生社会実現のため「地域連携（多職種連携）」の取組と課題を紹介した。第二部では、課題解決を担う人材を育成するための取組として、本学の教育の特徴である専門職連携教育について議論を深めた。当日は、現場で働く様々な職種の方を中心に約200名が参加した。

[illegible]

不登校、いじめ、SNS への対応と保護者とのかかわり方	共通教育科教授 東 宏行	8/1(水)	6 時間	94 名
-----------------------------	--------------	--------	------	------

(4) 中学、高校との連携（出張講座、開放授業、体験実習等）

① 高校出張講座

高等学校での出張講座等の教員の派遣は、従来、高等学校等からの依頼に基づき、個別に対応していたが、平成 15 年 8 月に「高校生を対象とした出張講座実施要領」を定め、あらかじめ授業テーマを提示し、その中から選択させ、教員を派遣する事業を実施している。

平成 30 年度は、中学校 4 校、高等学校 38 校で実施した。主な実施状況は次のとおり



高校出張講座の様子

学校名	講座日	テーマ	講師	
県立三郷高校	4 月 27 日	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
県立本庄高校	6 月 14 日	理学療法とは	理学療法	田口孝行
私立昌平高校	6 月 15 日	社会福祉とは何か？/学問領域と仕事	社会福祉子ども	保科寧子
武南高等学校	6 月 20 日	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	横山恵子
久喜市立菫蒲南中学校	6 月 29 日	スポーツ活動におけるトレーニング&コンディショニング	健康開発	八十島崇
県立松伏高校	7 月 9 日	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
県立越生高校	7 月 17 日	思春期の性の健康	看護	鈴木幸子
県立越ヶ谷高等学校	7 月 17 日	看護におけるコミュニケーション技術	看護	渋谷えり子
三郷市立北中学校	7 月 17 日	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
山村学園高等学校	10 月 11 日	舗装用具と歩行機能	理学療法	原和彦
県立大宮南高校	10 月 25 日	作業療法の現在と未来	作業療法	久保田富夫
わせがく高等学校川越学習センター	10 月 26 日	逆境と向き合うチカラ～あなたの強みはなんですか	社会福祉子ども	佃志津子
県立久喜北陽高等学校	11 月 5 日	運動を科学的に理解する	理学療法	西原 賢
県立八潮高等学校	11 月 6 日	スポーツ活動におけるトレーニング&コンディショニング	健康開発	八十島崇

川口市立高等学校	11月8日	理学療法とは	理学療法	高柳 清美
県立所沢北高等学校	11月9日	看護学を目指す高校生のための看護学入門（第一希望）	看護	平野裕子
県立南陵高等学校	11月12日	看護職って、どういう仕事？	看護	金さやか
さいたま市立浦和南高校	11月15日	運動能力と呼吸機能の関連について	理学療法	木戸聡史
県立坂戸高等学校	11月20日	看護師はどんな仕事をするのかな？	看護	新井麻紀子
春日部東高等学校	11月22日	看護職ってどういう仕事？	看護	金 さやか
県立常盤高等学校	11月27日	全身の健康を維持するために理解したい口腔の機能解剖学的役割	健康開発	柳澤信彰
浦和学院高等学校	12月11日	歯科診療ならびに歯科保健活動における歯科衛生士の役割	健康開発	吉田隆
県立久喜高等学校	12月12日	看護師はどんな仕事をするのかな？	看護	新井麻紀子
県立桶川高校	12月13日	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
幸手市立幸手中学校	12月18日	勉強や運動のパフォーマンスを上げるための睡眠のコツ	健康開発	有竹清夏
県立不動岡高等学校	12月20日	勉強や運動のパフォーマンスを上げるための睡眠のコツ	健康開発	有竹清夏
県立岩槻高等学校	1月24日	看護学を志す高校生のための看護学入門	看護	渋谷えり子
春日部市立緑中学校	1月30日	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	森 美紀
県立熊谷女子高等学校	2月12日	看護師はどんな仕事をするのかな	看護	新井麻紀子
県立特別支援学校坂戸ろう学園	2月26日	思春期の性の健康	看護	鈴木幸子
県立特別支援学校大宮ろう学園	3月5日	思春期の性の健康	看護	鈴木幸子
県立鴻巣高校	3月6日	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
県立白岡高等学校	3月14日	一緒に考えよう性感染症/私たちの性	看護	齋藤恵子
県立鳩ヶ谷高等学校	3月18日	レジエンス～折れないところってなんだろう～	社会福祉子ども	佃志津子

県立特別支援学校埼玉一学園	3月19日	生理学実習	共通教育	田中健一
県立蕨高等学校	3月20日	喜怒哀楽の秘密	共通教育	田中健一

② 高校生向け開放授業

本学と近隣11高等学校との間で協定を締結し、本学の授業を高校生に開放した。平成30年度は、4校33名の生徒が参加した。

【学校別内訳】

	H30	
	前期	後期
春日部共栄高校	16	5
県立越谷北高校	4	
県立越谷南高校	3	1
独協埼玉高校	4	
小計	27	6
計	33	



【授業別内訳】

	H30	
	前期	後期
社会福祉概論	2	
理学療法学概論	6	
臨床検査概論	11	
生物学	3	
生活福祉論		1
生活と障害	3	
口腔保健科学概論	2	
老年看護学Ⅰ		5
小計	27	6
計	33	



参加した高校生への修了証書の授与

(5) その他の地域との連携など

① りそなキッズマネーアカデミー

埼玉りそな銀行との共催で、小学生を対象に、お金の流れや社会における銀行の役割などに関する講義や、保健・医療・福祉分野に関する講義・実技を内容とするセミナーを開催している。

- ・日 時：平成30年8月2日（木）
- ・会 場：埼玉県立大学 北棟小講義室213
作業療法多目的実習室
- ・参 加 者：小学3～4年生の児童19人
- ・講義担当：共通教育科 東宏行教授、浅川泰宏准教授
- ・参 加 費：無料
- ・テ ー マ：「たびとぼうけんのひみつ」



② 親子サッカー教室

浦和レッドダイヤモンズと連携し、「埼玉県立大学&浦和レッズ “ハートフルコラボレーション”」親子サッカー教室を開催した。

- ・日 時：平成30年12月15日（土）
- ・会 場：埼玉県立大学グラウンド
- ・参 加 者：小学1～3年生の児童とその保護者 60組120人
- ・参 加 費：無料



（6）地域専門職連携推進会議

本学では、保健、医療、福祉分野の専門職の連携に係る人材を育成する一方、地域の医療機関や福祉施設等と連携し、保健医療福祉のネットワーク化を促進することで地域の課題を解決するための取り組みとして、埼玉県下12地域8エリアで地域専門職連携推進会議を設けている。

地域専門職連携推進会議は、県内の病院、介護施設、福祉施設、保健所等の行政機関や社会福祉協議会など300を超える機関・団体等が構成員として加入しており、各地域で専門職が連携し、それぞれの地域の特性に応じた主体的な取り組みを進めている。平成30年度の主な活動は以下のとおり。

【秩父地域】

- 秩父専門職連携推進会議の開催
日時：平成30年6月29日（金）14:00～
会場：秩父保健所
- 秩父専門職連携推進会議の開催
日時：平成30年9月14日（金）14:00～
会場：秩父保健所
- 秩父専門職連携推進会議の開催
日時：平成30年11月9日（金）14:00～
会場：秩父保健所



【埼玉南地域】

- 埼玉南専門職連携推進会議・研修会の開催
日時：平成31年2月13日（水）19:00～
会場：埼玉県立大学



【埼玉北・北埼玉地域】

- 埼玉北・北埼玉地域専門職連携推進会議・研修会の開催
日時：平成30年7月11日（水）14:00～
会場：加須市市民総合会館 市民プラザかぞ

【入間西・入間東地域】

- 入間西・入間東地域専門職連携推進会議・研修会の開催
日時：平成30年6月9日（土）15:00～
会場：埼玉医科大学 毛呂山キャンパス
- 入間西・入間東地域専門職連携推進会議・研修会の開催
日時：平成31年1月26日（土）14:00～
会場：ウェスタ川越



【川口地域】

- 川口地域専門職連携推進会議の開催
日時：平成30年11月1日（木）14:00～
会場：川口総合文化センター リリア タワー棟

(7) 地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議

地域包括ケアシステムの構築を推進するための取組として同会議を一般社団法人医療・福祉・環境経営支援機構と共に平成３０年度に立ち上げた。会議では、支援を必要とされる方々のニーズと、支援をしたい人や組織のマッチングを通じて、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるための体制（ネットワーク）の構築を目指している。平成３０年度の主な活動は以下のとおり。

- 第1回 「今後の進め方に関する打合会議」
日時：平成 30 年 9 月 4 日（火） 13:30～
会場：三井ホーム会議室（大宮ソニックシティ 3 1 階）
- 第2回 「住民の困りごと／支援ニーズを知ろう」
日時：平成 30 年 11 月 30 日（金） 14:00～
会場：三井ホーム会議室（大宮ソニックシティ 3 1 階）
- 第3回 「企業・組織の活動内容を知ろう 1」
日時：平成 31 年 2 月 15 日（金） 12:30～
会場：市民会館おおみや

[illegible][illegible][illegible]

(8) 志木市と「地域包括ケアシステムの構築に関する協定」を締結

地域包括ケアシステムの構築を推進するため、志木市と様々な連携をしてきたが、今後さらに連携を強化するため、「地域包括ケアシステムの構築に関する協定書」を平成31年2月に締結した。大学と市町村による地域包括ケアシステムの構築に特化した協定は、県内で初めてとなる。

日時：平成31年2月19日（火） 13:30～

場所：志木市役所

出席者：香川武文市長、田中滋理事長、萱場一則学長



事業名	チャレンジジュニア育成事業（夢のかけはし教室）「看護師になりたい」
開催日時	平成30年11月17日（土） 10時00分～12時00分
事業開始	平成23年度（本学との連携開始年度）
会場	埼玉県立大学 南棟3階講義室・1階実習室
担当教員	看護学科 鈴木幸子教授、東原亜希子助教、青木恭子助教、千葉真希子助教
参加者	埼玉県在住または在学 小学4～6年生 39名
受講料	無料
連携団体	埼玉県県民生活部青少年課
事業内容	埼玉県と連携し、小学生の夢実現を支援するため、プロから学び、体験する教室を開催する。 講義：看護師の仕事についてのお話 「病めるときも健やかなるときもー看護の仕事ー」 看護師はどんな仕事をしているかや、 看護師になるためにはどうしたらよい か、そのためには何を学んだらよいの かなど、看護師について学んだ。 体験：看護師の仕事体験 ○赤ちゃん（モデル人形）を抱っこ してみよう ○聴診器で赤ちゃんの心臓の音を聞 いてみよう ○赤ちゃん（モデル人形）の体重を 測ってみよう ○おなかの中の赤ちゃん（妊婦モデ ル）の心臓の音を聞いてみよう    
アンケート結果	・体験がとても充実していた ・先生、学生さんともとても丁寧に優しく教えていただいた ・モデル人形など、設備が充実していた ・具体的に看護師という職業のイメージが湧いた

事業名	子ども大学こしがや・まつぶし		
開催日時	平成30年 9月22日(土) 10時00分～12時40分 12月1日(土) 11時00分～13時00分		
事業開始	平成22年度(本学との連携は平成23年度から)		
会場	埼玉県立大学 9/22(土) 北棟207・208講義室 12/1(土) 北棟113講義室		
参加者	越谷市及び松伏町在住 小学4年生～6年生 53名		
受講料	1,000円		
連携団体	越谷市教育委員会、松伏町教育委員会、文教大学、越谷青年会議所、NPO子育てサポーターチャオ		
事業内容	地域の大学や市町村、企業・NPOが連携して、子ども(小学4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。本学は、第1日目と第5日目を担当し、入学式、修了式もあわせて行った。 【9月22日(土)】 【はてな学】「筋肉を知ろう」 講師 理学療法学科 小栢進也准教授 【講義】 筋肉ってどうやって動いているか、どんなことをしてるのかについて学んだ。また、筋肉を作る工作を行った。  		
	【12月1日(土)】 【はてな学】「手話を楽しもう」 講師 社会福祉子ども学科 朝日雅也教授 【講義】 目で見ることば「手話」を使って話をしてみよう。 聞こえる人も聞こえない人も、ともに生きる社会について考えよう。  		
入学式／修了式	入学式		
	修了式		
アンケート結果	・筋肉の仕組み、筋肉の出す信号などいろいろ知れて楽しかった。 ・関節とかがいっぱいあるということがよく分かってとってもよかった。 ・筋肉は、ちょっ小さい電気が走ってるなんて思わなかった。ダニは、もっと少ない電気が走っているのかな。 ・次は、血液について知りたい。 ・筋肉の勉強をして、心に残ったことは、人の筋肉がピンク色だということです。わたしは、赤色だと思っていたのでピンク色だということや人それぞれ色が違うことにおどろきました。 ・筋肉の足は曲げるとかたくなって、筋肉が動かなくなると走れなくなったりしたら大変だと思いました。 ・筋肉がどのようにうごいているのかを知り、体を動かすほかのことにも使われていることがわかりました。 ・筋肉はアキレス腱や関節によって動くのだなと分かった。 ・体の中に今もずっと電気が流れていることが、心に残りました。 ・筋肉の模型を見て、筋肉は、こんなふうに動いているのだということがわかりました。 ・筋肉を作る工作がとても楽しかったし、おもしろかったです。 ・筋肉のおかげで生活ができることを知っておどろいた。 ・授業でしなかったことをたくさんできた。		

報道日	報道機関等名	内 容
3/3(土)	さいたま市ホームページ 「大学コンソーシアムさいたま」	公開講座「損なわれた関係を正し修復するR J対話 体験会」「職場のメンタルヘルス」「模擬患者とは何か？＜入門編＞～よい医療者育成に必要な力となる～」「高齢者の身体と理学療法」「子ども劇場」「生命科学体験教室～いのちを体験しよう」「夏休み子ども民俗学～むかしの人が考えた世界のすがた～」「出張！育児相談会～作業療法士による～」
3/19(月)	さいたま市生涯学習情報誌「まなベル」 平成30年度前期号	公開講座「損なわれた関係を修復するR J対話 体験会」「職場のメンタルヘルス」「高齢者の身体と理学療法」「模擬患者とは何か？入門編～よい医療者育成に必要な力となる～」「子ども劇場」「生命科学体験講座～いのちを体験しよう～」「夏休み子ども民俗学～むかしの人が考えた世界のすがた～」「夏休み子ども講座～食品添加物の検査をしてみよう！～」「親子パラスポーツ体験講座」「出張！育児相談会～作業療法士による～」
4/1(日)	埼玉県ホームページ「埼玉県まなびいプロジェクト協賛事業」各月イベント情報に掲載	公開講座「損なわれた関係を正し修復するR J対話 体験会」「職場のメンタルヘルス」「模擬患者とは何か？＜入門編＞～よい医療者育成に必要な力となる～」「高齢者の身体と理学療法」「子ども劇場」「夏休み子ども民俗学～むかしの人が考えた世界のすがた～」「夏休み子ども講座～食品添加物の検査をしてみよう～」「親子パラスポーツ体験講座」
4/1(日)	広報こしがや（4月号）	健康情報コラム「痛くても我慢して動かす？四十肩・五十肩」（国分貴徳助教）
4/1(日)	さいたま市報（4月号）	公開講座「損なわれた関係を修復するR J対話 体験会」「職場のメンタルヘルス」
5/1(火)	さいたま市報（5月号）	公開講座「模擬患者とは何か？＜入門編＞～よい医療者育成に必要な力となる～」「高齢者の身体と理学療法」
5/31(木)	埼玉県青少年課「青少年夢のかけはし事業（前期）」パンフレット	公開講座「生命科学体験教室～いのちを体験しよう～」「夏休み子ども民俗学～むかしの人が考えた世界のすがた～」「夏休み子ども講座～食品添加物の検査をしてみよう～」
6/1(金)	さいたま市報（6月号）	公開講座「夏休み子ども民俗学～むかしの人が考えた世界のすがた～」
6/22(金)	ばど	公開講座「夏休み子ども民俗学～むかしの人が考えた世界のすがた～」
8/1(水)	広報こしがや（8月号）	健康情報コラム「ボランティア活動の講師にチャレンジしてみませんか」（南雲浩隆准教授）
8/24(金)	ばど	公開講座「親子パラスポーツ体験教室」
8/31(金)	埼玉県青少年課「青少年夢のかけはし事業（後期）」パンフレット	「看護師になりたい」
9/1(土)	さいたま市ホームページ 「大学コンソーシアムさいたま」	公開講座「精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク」「お口からの健康づくり～親子でお口のチェックをしてみませんか～」「食べることの大切さと健康について学ぼう！」「アルコール依存症への支援～安心と癒しのある場所で～」「市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ」「出張！育児相談～作業療法士(教員)が参ります～」
9/21(金)	さいたま市生涯学習情報誌「まなベル」 平成30年度後期号	公開講座「お口からの健康づくり」「精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク」「市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ」「食べることの大切さと健康について学ぼう！」「アルコール健康障害対策基本法とさいたまマックスの活動」「避難所の生活環境整備における地域住民・専門職の連携」「親子サッカー教室」
9/14(金)	ちいいき新聞	公開講座「がんになっても自分らしく生きよう」
10/27(土) ・28(日)	学園祭（パンフレットへ掲載）	公開講座「お口からの健康づくり」「精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク」
10/27(土) ・28(日)	学園祭チラシ配布	公開講座「お口からの健康づくり」「精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク」「アルコール依存症への支援～安心と癒しのある場所で～」「市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ」「食べることの大切さと健康について学ぼう！」
11/1(木)	広報こしがや（11月号）	公開講座「市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ」
11/8(木)	チラシ配布（近隣小学校）	公開講座「親子サッカー教室」
11/16(金)	ばど	公開講座「市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ」
12/1(土)	ばど	公開講座「親子サッカー教室」
1/1(火)	広報こしがや（H31.1月号）	健康情報コラム「その風邪に抗生物質は効きますか？」（村井美代准教授）

公立大学法人埼玉県立大学地域産学連携センター
平成30年度活動実績報告書

平成31年5月発行

発行 埼玉県立大学地域産学連携センター

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820

電話 048-973-4114 / FAX 048-973-4807

E-mail edec@spu.ac.jp

ホームページ <http://www.spu.ac.jp>



(無断複写複製不可)